

東海ゴム、「長野県ふるさとの森林づくり賞」受賞

東海ゴム工業株式会社（本社：愛知県小牧市、代表取締役社長：西村義明）は、長野県池田町で実施している社会貢献活動「東海ゴムの森づくり事業」について、「平成25年度長野県ふるさとの森林づくり賞」の長野県知事賞を受賞しましたので、お知らせいたします。



表彰式に臨む尾崎副社長（左）



長野県池田町での森林間伐作業

同事業は、当社従業員と長野県池田町の住民が共同で、森林での植樹や間伐などの作業に取り組むことにより、自然保護や地域活性化につながる活動です。今回の受賞につきましては、当社が同地区において、地元住民の主体的な参画のもと、森林維持や林産資源の確保に貢献した点が高く評価されました。なお、同事業は、長野県の「森林（もり）の里親促進事業」に賛同し、長野県が森林保護促進策として導入している「森林づくり県民税」の活用を推進していることから、「長野県森林づくり県民税活用の部」での長野県知事賞受賞となりました。

1月15日（水）に長野市の長野県林業センターで開かれた表彰式で、当社を代表して尾崎俊彦・取締役執行役員副社長が、長野県の和田恭良副知事より表彰状を受け取りました。

同事業は、長野県より2012年度で227.3トンのCO₂吸収量の認定を受けるなど、環境保護活動として成果を生み出しております。当社は、今回の受賞を契機に、よりよい社会づくりへの貢献が企業の役割であることを再認識するとともに、世界中の皆様にも愛され必要とされる企業であり続けることを目指して、今後も社会貢献活動に積極的に取り組んでまいります。

<東海ゴムの森づくり事業>

当社は長野県が提唱する「森林（もり）の里親促進事業」の理念に賛同し、2008年7月1日に長野県池田町と5カ年の「里親契約」を結び、同町内の森林38㍍を「東海ゴムの森」と命名して保全活動を開始。2012年8月には、新たに5カ年の延長契約を締結しました。

毎年春・夏・秋の3回、当社が従業員有志によるボランティア隊を結成して週末に1泊2日で現地入りし、森林保全に必要な植樹や間伐、枝打ち作業に取り組むとともに、地元の皆様と農業体験や郷土食作りを体験するなど、交流を深めています。当社からは、2013年度までの6年間で、延べ約500名が参加しています。

なお、三重県松阪市でも同様の森林保全促進事業を展開しており、活動の領域を広げております。